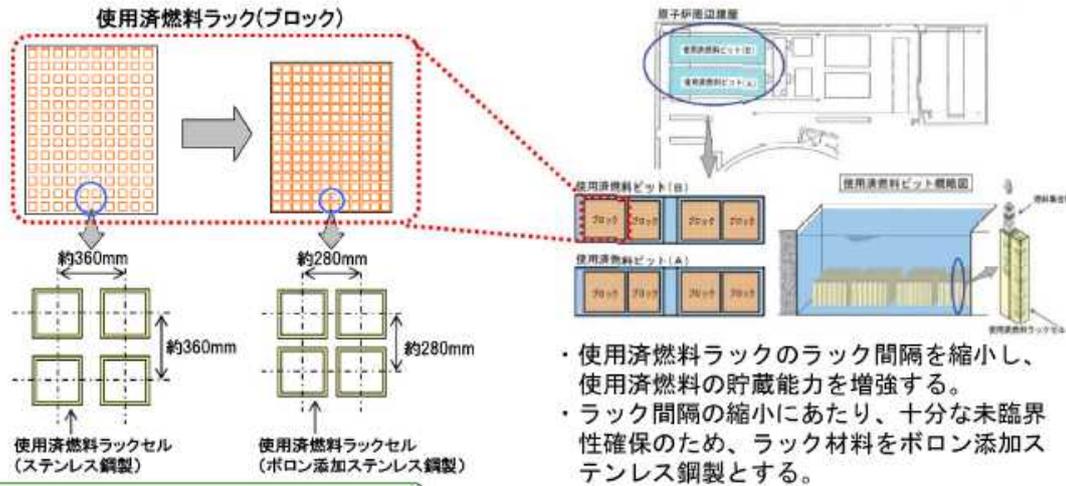


(令和元年度第38回原子力規制委員会 資料1抜粋)

(参考) 本申請の概要

(1) 使用済燃料貯蔵設備の貯蔵能力の変更等

玄海原子力発電所3号炉の使用済燃料貯蔵設備の貯蔵能力を変更（リラッキング）するとともに、3号炉の核燃料物質取扱設備及び貯蔵設備の一部を3号炉及び4号炉共用とする。

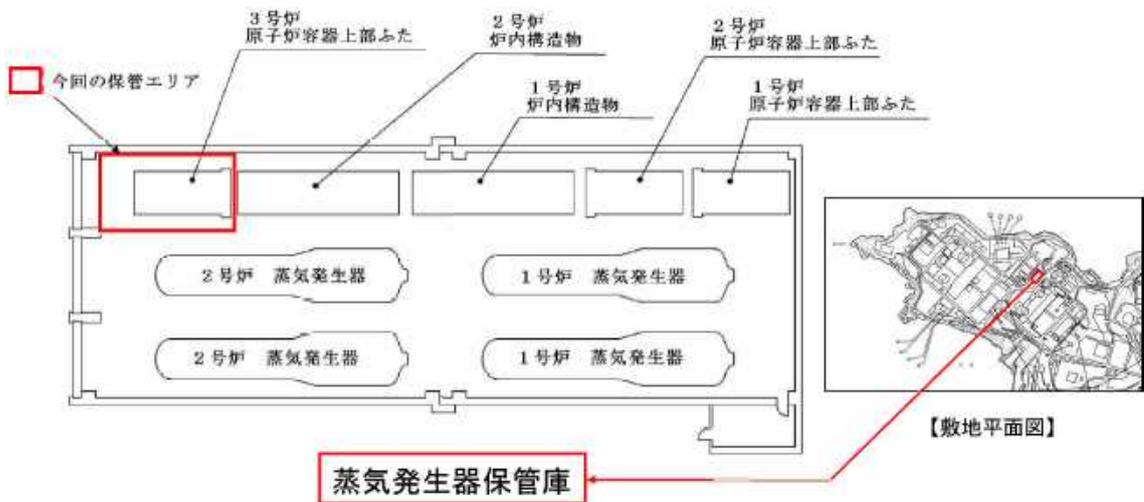


出典：第675回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合資料3-1 (<https://www.nsr.go.jp/data/000260849.pdf>) から抜粋

	現状	今回の変更
貯蔵能力(体)	1,050	1,672

(2) 蒸気発生器保管庫の共用等

3号炉の原子炉容器上部ふた等を貯蔵保管するため、蒸気発生器保管庫（1号及び2号共用、既設）を1号炉、2号炉及び3号炉共用とする。



出典：第702回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合資料2-3 (<https://www.nsr.go.jp/data/000267210.pdf>) から抜粋